

⑤ 次の各問に答えなさい。

(1) 右の資料は、サンフランシスコ平和条約の調印の様である。条約に署名している。当時の日本の首相はたれですか。  
( 吉田茂 )



(2) サンフランシスコ平和条約によって日本は主権を回復したが、同時に発せられた日米安全保障条約によって、独立後もどのような状態になったか。「軍事基地」という語句を使って書きなさい。  
( アメリカの軍事基地が日本国内に残されることになった )

(3) 右の資料1は、1949～53年までの岩手県の釜石製鉄所と全国の粗鋼生産量の推移を示したものである。

資料1

年	釜石製鉄所	全国
1949	179	3,111
1950	276	4,839
1951	360	6,502
1952	373	6,988
1953	395	7,662

※単位：千トン 「数字でみる日本の100年」ほか

資料2

第二次世界大戦後、冷戦の影響で始まった戦争である。日本に駐留していた国を中心とする国連軍が介入し、1953年に、北緯38度線付近を軍事境界線として休戦協定が締結された。

また資料2は、資料1

で示された期間内に始まった戦争について説明した文である。資料1に見られるような生産量の変化がおきたのはなぜか、その理由を、資料2の戦争の名称と、この時期に日本の生産物の主要な取引相手となった国名をそれぞれ明らかにして書きなさい。

( 朝鮮戦争が始まり、アメリカからの物資の注文が増えたため )